

鳥取県立公文書館報

第34号
(令和6年度)

鳥取県立公文書館

目 次

公文書館の概要

1 設置の目的	1
2 機能	1
3 組織	1
4 令和6年度予算	1
5 令和6年度事業計画	2
〔 公 文 書 担 当 〕	2
(1) 引継ぎ	
(2) 整理・保存	
(3) 利用提供	
(4) 普及事業	
(5) その他	
〔 市 町 村 協 働 担 当 〕	3
(1) 県市町村歴史公文書等保存活用共同会議	
〔 県 史 活 用 担 当 〕	3
(1) ふるさと教育・人材育成支援事業	
(2) 県民の豊かな学びを支える県史活用推進事業	
(3) 新たな地域を拓く歴史情報収集・発信事業	
(4) 鳥取の特色ある歴史文化の調査研究事業	

令和5年度事業概要

〔 公 文 書 担 当 〕	
1 特定歴史公文書等の引継ぎ等の状況	4
(1) 公文書管理条例第2条第4項ア及びイに該当するもの	
(2) マイクロフィルムにより複製、保存しているもの	
(3) 刊行物等の行政資料	
(4) 寄贈資料（公文書管理条例第2条第4号ウに該当するもの等）	
2 整理・保存の状況	5
(1) 簿冊（公文書綴）等紙資料の修復	
(2) 写真資料等の修復及び電子化	
(3) 複製本の作成	
(4) 簿冊の電子化	
3 利用の状況	6
(1) 公文書管理条例第13条に基づく利用請求の状況	
(2) 行政資料等の利用状況	
(3) 一般の方の来館利用状況	
(4) 県職員の利用状況	
(5) インターネットによる公文書館ウェブサイトの閲覧状況	

4 展示の状況	7
(1) 常設展	
(2) 企画展	

〔 市 町 村 協 働 担 当 〕

5 県市町村が連携・協力した歴史公文書等の保存活用の推進	7
(1) 県市町村歴史公文書等保存活用共同会議	
(2) 公文書館と図書館、博物館との連携	
(3) 歴史公文書等の保存活用に係る市町村との連携事業	
6 普及・啓発	8
(1) 令和5年度鳥取県新規採用職員基礎研修	
(2) 日野町古文書に親しむ会	
(3) 鳥取市社会教育事業団『郷土シリーズ(41)』編集委員委嘱	
(4) 松江市文書館(仮称)基本計画検討委員会委員委嘱	
(5) 県外からの依頼により講師を派遣	
(6) 鳥取県立公文書館報第33号の発行	

〔 県 史 活 用 担 当 〕

1 ふるさと教育・人材育成支援事業	9
(1) 新鳥取県史を活用した学習教材開発事業	
(2) 市町村事業の支援・協力	
(3) パネル展「子どもたちと戦争」の開催	
2 県民の豊かな学びを支える県史活用推進事業	10
(1) 新鳥取県史を学ぶ講座	
(2) 占領期の鳥取を学ぶ会の開催	
3 新たな地域を拓く歴史情報収集・発信事業	10
(1) 鳥取県に関する重要な歴史資料の調査収集	
(2) 新鳥取県史収集資料の整理と公開	
4 鳥取の特色ある歴史文化の調査研究事業	11
(1) 鳥取県災害アーカイブズ事業	
(2) オーラルヒストリー調査事業(「鳥取県の昭和の記憶」収集事業)	
(3) 弥生時代青銅器の調査研究	

公文書館の概要

1 設置の目的

公文書館は、歴史資料として重要な県等の公文書、その他の記録などを保存し、県民の利用に供するとともに、調査研究を行うため設置し、県、市町村及び県民等が相互に連携し、協力して行う歴史資料として重要な史料の保存及び利用に関する中心的役割を果たすものとする。

2 機能

(1) 公文書の引継ぎ、整理及び保存並びに一般利用

鳥取県公文書等の管理に関する条例（以下「公文書管理条例」という。）に基づき、歴史公文書等のうち、特定歴史公文書等として引き継いだものを整理・保存するとともに、一般利用に供する。

(2) 行政資料などの排架

行政資料・統計資料を自由に閲覧できるよう閲覧室に排架する。

(3) 情報の提供

県の施策その他県政に係る歴史的事実に関する調査研究を行い、その成果を企画展などを通じて情報提供する。

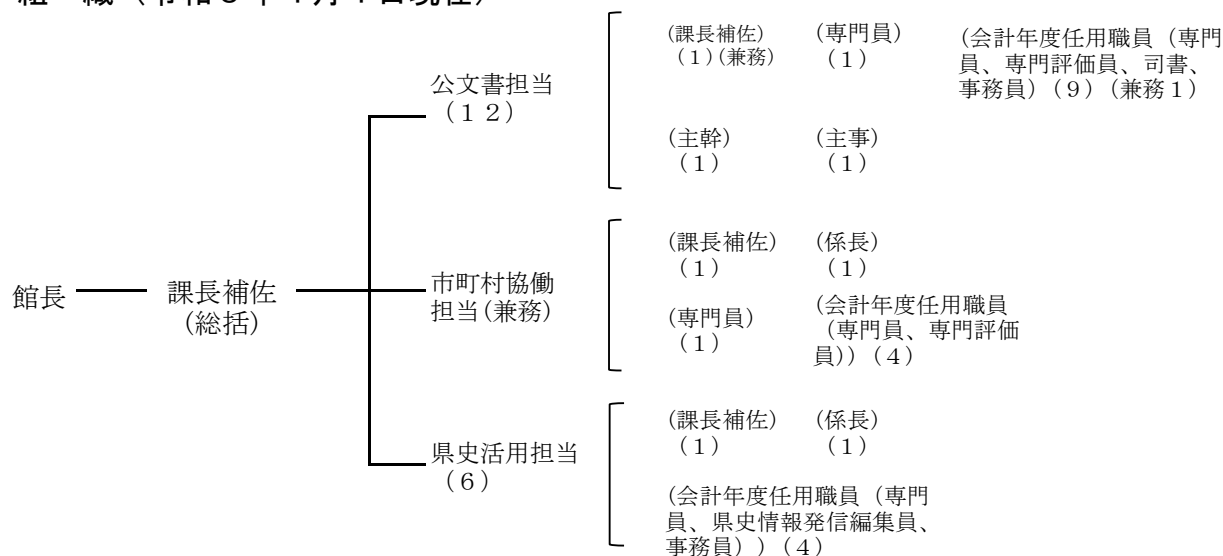
(4) 市町村・県民等との連携・協力

市町村・県民等の保有する歴史資料として重要な資料の保存・利用に関する専門的な情報の提供、技術的な助言等を行う。

(5) 県史編さん情報の活用推進

新鳥取県史編さん事業の成果や収集した資料の公開や活用を推進するとともに、報告書等の刊行、講演会の開催等の普及事業を実施する。

3 組織（令和6年4月1日現在）



4 令和6年度予算

(単位：千円)

事業名	当初予算額
公文書収集・保存・活用事業	2,808
公文書館センター機能強化・充実事業	2,474
公文書館管理運営費	8,601
ふるさと鳥取歴史情報活用推進事業	5,428
合計	19,311

5 令和6年度事業計画

〔公文書担当〕

(1) 引継ぎ

- ア 実施機関が作成した歴史公文書等について、保存年限満了後当館へ引き継ぐ。
- イ 引き継がれた簿冊について、早期に利用制限情報に関する審査や公文書管理条例制定前引継文書の再評価を行う。
- ウ 所蔵簿冊の点検を行い簿冊目録の整備を図る。
- エ 書庫の狭あい化に備えて、当面の書庫管理の適正化を図る。

(2) 整理・保存

- ア 公文書綴り(簿冊)等紙資料の修復
劣化・破損の著しい簿冊や寄贈を受けた貴重資料を、専門事業者に委託して脱酸、裏打ち、漉き嵌め(リーフキャスト)等で修復する。軽易な修復は職員が行う。
- イ 写真、映画フィルムの電子化
原板(ネガ・ポジ、フィルム等)は専用フォルダ等に収納する。電子化されたデータを整理・目録化するとともに一部をとってデジタルコレクションに掲載する。
- ウ 複製本の作成
簡易製本されている資料を複製本化する。
- エ 書庫の管理
IPM(総合的有害生物管理)を利用して管理するとともに、温湿度の管理を徹底する。
〔※IPMとは、従来のくん蒸剤による書庫及び資料管理に替えて、清掃による虫やカビの回避や、侵入ルートの遮断等予防に重きを置く方法。〕
- オ 所蔵資料を保存し利活用するための基盤整備
公文書管理条例施行前引継ぎ文書の再評価を行う。利用制限の事前審査を行う。デジタル化資料のとりデジタルコレクションでの公開をすすめる。

(3) 利用提供

収集・整理した保存文書を、公文書管理条例に基づき、利用提供する。

(4) 普及事業

- ア 常設展
展示コーナー(館内及び共通通路)において、県政に関わる資料を展示する。共通通路については、話題性のある資料をもとに、年2回程度の入替を行う。
- イ 企画展
「君野順三が見た鳥取大火」
(会期：令和6年4月12日(金)～4月28日(日))
「鳥取県ができるまで」
(会期：令和6年9月3日(火)～9月18日(水) 予定)

(5) その他

公文書管理条例第26条及び鳥取県立公文書館管理運営要綱第27条に基づき、公文書館の事業概要等を掲載した『鳥取県立公文書館報』第34号を作成し、当館ホームページで公開する。

〔市町村協働担当〕

(1) 県市町村歴史公文書等保存活用共同会議

県や市町村、県民の保有する歴史資料として重要な公文書等の適切な保存及び利活用推進について、県及び全市町村で連携を図りながら普及啓発・災害時の連携協力に係る検討・情報交換等を行う。

ア 現用公文書及び歴史公文書等の適切な管理・保存活用のための取組

(ア) 職員の資質向上のための研修

a 公文書等の適切な保存及び利活用に関する研修会

b 資料保存・修復研修会

(イ) 市町村訪問による歴史公文書等の評価選別・保存活用推進

イ 災害時等の資料の滅失・破損防止のための取組

(ア) 災害時等の連携・協力

〔県史活用担当〕

新鳥取県史編さん事業の成果や収集した歴史資料を有効に活用するため、「ふるさと鳥取歴史情報活用推進事業」として、関係機関と連携しながら、以下の事業を実施する。

(1) ふるさと教育・人材育成支援事業

ア 新鳥取県史を活用した学習教材開発事業

イ 市町村事業の支援・協力

(2) 県民の豊かな学びを支える県史活用推進事業

ア 鳥取県史ブックレットの刊行

「鳥取県の写真史（仮）」の発刊準備

イ 新鳥取県史を学ぶ講座

歴史講座「鳥取県の銅鐸・武器形青銅器」の開催

民俗講座「倉吉餅」の開催

ウ 「占領期の鳥取を学ぶ会」の開催

鳥取市歴史博物館と共催で「GHQ軍政レポート」を県民参画で解説

(3) 新たな地域を拓く歴史情報収集・発信事業

ア 新鳥取県史収集資料の整理と目録・写真等の公開

イ 鳥取県に関する重要な歴史資料の調査収集

(4) 鳥取の特色ある歴史文化の調査研究事業

ア 「鳥取県の昭和の記憶」収集事業

県政・財界等の関係者や高度経済成長期等に関する県民からの聞き取り、発刊準備

イ 鳥取県災害アーカイブズ事業

歴史資料や文献・新聞から災害情報を抽出し、データベース化して公開

ウ 事業検討会議の開催

通史編（現代）の編さんに向けて、事業内容等について専門的意見を聴取するため有識者等による会議を開催

令和5年度事業概要

〔公文書担当〕

1 特定歴史公文書等の引継ぎ等の状況(令和6年3月31日現在)

(1) 公文書管理条例第2条第4項ア及びイに該当するもの

令和5年度は1,206冊の引継ぎを行い、合計57,555冊となった。(単位:冊)

区 分		保 存 区 分	令和4年度まで	令和5年度	合 計
知事部局	本 庁	30年(旧永年)	31,266	571	31,837
		10年以下(旧有期限)	15,417 (133)	472 (26)	15,889 (159)
	地方機関	30年(旧永年)	1,735	2	1,737
		10年以下(旧有期限)	1,157 (32)	28 (4)	1,185 (36)
小 計	30年(旧永年)	33,001 (0)	573 (0)	33,574 (0)	
	10年以下(旧有期限)	16,574 (165)	500 (30)	17,074 (195)	
知事部局以外	教育委員会	30年(旧永年)	2,276	23	2,299
		10年以下(旧有期限)	1,242 (15)	17 (1)	1,259 (16)
	県立学校	—	704 (5)	58 (1)	762 (6)
	公安委員会	—	14	1	15
	警察本部	30年(旧永年)	132	0	132
		10年以下(旧有期限)	20	3	23
	選挙管理委員会	30年(旧永年)	0	0	0
		10年以下(旧有期限)	6	6	12
	人事委員会	30年(旧永年)	266	0	266
		10年以下(旧有期限)	19	1	20
	監査委員	30年(旧永年)	32	0	32
		10年以下(旧有期限)	587	23	610
	労働委員会	30年(旧永年)	431	0	431
		10年以下(旧有期限)	3	0	3
	収用委員会	—	2	0	2
	海区漁業調整委員会	—	15	0	15
	病院事業管理者	—	59 (1)	0	59 (1)
	企業局	—	1	0	1
	公立鳥取環境大学	—	0	1	1
	住宅供給公社	—	1	0	1
土地開発公社	—	9	0	9	
小 計	—	5,819 (21)	133 (2)	5,952 (23)	
県議会	30年(旧永年)	955	0	955	
合 計			56,349 (186)	1,206 (32)	57,555 (218)

- ① 公文書管理条例施行に伴い、保存区分が見直され永年が30年となった。また、知事部局をはじめとする15機関が公文書館へ公文書を引き継ぐ機関として位置づけられた。(表には引継ぎのあった機関のみを掲載)
- ② 知事部局本庁の10年・5年保存(旧有期限)文書については、平成23年度までは「鳥取県文書の整理、保管及び保存に関する規程」(平成24年4月1日廃止)に基づき、歴史資料として重要と判断したものを引き継いでいる。知事部局地方機関については、平成7年度から知事部局本庁と同様の方針で引継ぎを実施している。
- ③ 知事部局以外の機関については、教育委員会本庁(平成8年度から)、人事委員会(平成10年度から)、労働委員会(平成10年度から)、県議会(平成10年度から)、監査委員(平成22年度から)それぞれ知事部局本庁と同様の方針で引継ぎを実施してきた。
- ④ 警察本部の30年(旧永年)については、現行警察制度以前(明治～昭和22年)の文書を平成16年度に引き継いだものである。
- ⑤ 年度末時点で引継ぎが完了していない簿冊は、当該年度の引継数には計上せず、翌年度に前年度までの所蔵数に加えている。
- ⑥ 令和元年度館報から電子簿冊数をかっこ(内数)で計上した。
- ⑦ 所蔵資料の再選別により廃棄又は移管したものは、前年度までの所蔵数に反映させた。

(2) マイクロフィルムにより複製、保存しているもの

当館所蔵公文書等の不足分を補充するため、他機関等が所蔵する公文書を複製収集しており、また、当館所蔵の劣化した公文書及び県史編さん収集資料についても複製保存している。

(単位:コマ数)

区 分		令和4年度まで	令和5年度	計
欠 落 公 文 書 の 充 補 充	県内市町村関係	63,654	0	63,654
	島根県関係	59,381	0	59,381
	福島県移住関係	12,144	0	12,144
	北海道移住関係	18,789	0	18,789
	国立公文書館	477	0	477
	学校調査関係	569,615	0	569,615
	その他	11,592	0	11,592
計	735,652	0	735,652	
劣化公文書		85,355	0	85,355
県史編さん収集資料		108,493	0	108,493
合 計		929,500	0	929,500

(3) 刊行物等の行政資料

(単位:冊)

区 分		令和4年度まで	令和5年度	計
行政資料		37,694	679	38,373
統計資料		27,539	153	27,692
合 計		65,233	832	66,065

※ 内規による廃棄を実施しているため数が減少する場合がある

(4) 寄贈資料(公文書管理条例第2条第4号ウに該当するもの等)

(単位:点)

区 分		令和4年度まで	令和5年度	計
県史編さん関係原文書		362	0	362
寄贈資料		10,392	140	10,532
合 計		10,685	140	10,894

※ 県史編さん関係原文書のうち、17点を平成29年度に県立博物館に移管

※ 寄贈資料のうち、288点を令和3年度に県立博物館に移管

2 整理・保存の状況

(1) 簿冊(公文書綴)等紙資料の修復

劣化・破損の著しい簿冊や書籍、寄贈を受けた貴重資料等を脱酸、裏打ち、漉き嵌め(リーフキャスティング)等で修復した。(事業者委託分)

区 分	令和4年度まで	令和5年度	計
簿 冊	30	0	30冊
図 面 類	614	0	614舗
上記以外の紙資料	60	18	78点

(2) 写真資料等の修復及び電子化

劣化・破損の著しい写真アルバムの修復とともにマイクロフィルム、その他の写真フィルム等の電子化を実施した。

区 分	令和4年度まで	令和5年度	計
写真アルバムの修復	25	0	25冊
マイクロフィルムの電子化	256,853	16,530	273,383コマ
写真フィルムの電子化	68,135	1,390	69,525コマ
映画フィルムの電子化	7	0	7巻
絵葉書の電子化	292	151	443点
絵図・地図の電子化	76	7	83舗

(3) 複製本の作成

原本保存と利用者の利便性を図るため、原本やマイクロフィルム等を複製本化した。

区 分	令和4年度まで	令和5年度	計
複製本作成	1,785	0	1,785冊

(4) 簿冊の電子化

センター機能強化・充実事業として、簿冊の電子化した。

区 分	令和4年度まで	令和5年度	計
簿冊の電子化	14,903	158	15,061コマ

3 利用の状況

(1) 公文書管理条例第13条に基づく利用請求の状況

区 分	請求者数 (人)	請求件数 (件・枚)	利用決定区分			不服申立 件数
			全部利用	部分利用	利用制限	
引継公文書	37	267	257	10	0	-
寄贈寄託資料	15	175	168	7	0	-
写真・映像等	40	664	664	0	0	-
合 計	90	1,106	1,089	17	0	0

(2) 行政資料等の利用状況

区 分	利用者数 (人)	件数 (件)
一般の利用	60	151
県職員	20	57

(3) 一般の方の来館利用状況

月別	来館者数	内 訳				
		開架資料閲覧 展示閲覧	相談・案内			写しの交付
			簿冊・閉架資料閲覧	冊	枚	
	人	人	人	人	冊	枚
4月	607	556	51	10	74	6
5月	305	262	43	11	22	49
6月	265	229	36	9	17	99
7月	329	296	33	8	70	9
8月	353	323	30	12	44	57
9月	342	315	27	10	15	3
10月	282	250	32	5	23	96
11月	255	226	29	13	34	28
12月	240	216	24	4	50	52
1月	219	200	19	8	25	170
2月	216	186	30	12	155	18
3月	215	193	22	6	370	6
令和5年度計	3,628	3,252	376	108	899	593

上記のほかに電話、メールによる相談・案内が60人あり。

(4) 県職員の利用状況

年 度	利用者数 (人)	資料閲覧・貸出 (冊)
令和5年度	199	738

(5) インターネットによる公文書館ウェブサイトの閲覧状況

年 度	閲覧回数 (回)
令和5年度	344,499

4 展示の状況

(1) 常設展

鳥取県の誕生からの明治期の資料、昭和20年代後半のカラー写真、鳥取市街を撮影した昭和30年代初頭のカラー写真等を展示した。

(2) 企画展

ア 企画展

テーマ：小学校が記録した鳥取大火

内容：令和4年度に鳥取市立醇風小学校から寄贈を受けた「鳥取大火1周年記念文集」や「鳥取大火関係資料」を中心に16点を展示した。

会期：令和5年4月14日（金）～4月24日（月）

入館者：455人

イ 企画展

テーマ：鳥取県ができるまで

内容：明治2年の版籍奉還から鳥取県の誕生（明治4年）、島根県への合併（明治9年）、鳥取県再置（明治14年）、再置後の県政及び明治30年代の府県の再編計画について展示した。

会期：令和5年9月1日（金）～9月19日（火）

入館者：277人

〔市町村協働担当〕

5 県市町村が連携・協力した歴史公文書等の保存活用の推進

県や市町村、県民の保有する歴史資料として重要な公文書等の適切な保存及び利活用推進について、県及び全市町村で連携を図りながら普及啓発・災害時の連携協力に係る検討・情報交換等を行う。

(1) 県市町村歴史公文書等保存活用共同会議

ア 共同会議

開催日：令和5年8月30日（水）

内容：研修、共同会議の概要説明、意見交換等

研修演題：アーキビスト認証についてーその経緯と今後の展望ー

研修講師：独立行政法人国立公文書館 上席公文書専門官 伊藤一晴氏

参加人数：38人

イ 資料保存・修復研修会

開催日：令和5年11月7日（火）～8日（水）、令和6年3月12日（火）

内容：紙資料の修復（裏打ち、繕い、切り継ぎ、昭和期発行の刊行物の修復）

講師：修復工房HATA Studio代表 秦 博志氏

参加人数：30名

ウ 市町村訪問

訪問市町村及び訪問日：倉吉市 令和5年10月17日（火）及び11月2日（木）

内容：書庫見学及び倉吉市歴史公文書等評価選別委員会へ出席し、公文書の保存方法、評価選別についての意見交換

(2) 公文書館と図書館、博物館との連携

3館及び理蔵文化財センターで令和3年3月に公開したデジタルアーカイブ（とっとりデジタルコレクション）について、定期的に連絡会議を行うとともに、新たにデジタル化した資料を追加した。

(3) 歴史公文書等の保存活用に係る市町村との連携事業

災害時文書搬出必要資機材の備蓄

中性紙箱、真空圧縮袋、無水エタノール、運搬用折りたたみコンテナ等の管理

6 普及・啓発

(1) 令和5年度鳥取県新規採用職員基礎研修

期 日：令和5年4月18日（火）

内 容：「公文書等の適切な保存と利活用」について講義を行った。

講 師：田淵 香緒里

受講者：152人

(2) 日野町古文書に親しむ会

期 日：原則毎月第4日曜日（午前10時30分～正午、11回開催）

内 容：「日野郡黒坂村福田丹波支配筋一件諸事控書抜」ほかを解説した。

講 師：伊藤 康

受講生：8人／回

その他：午後から資料整理を行った。

(3) 鳥取市社会教育事業団『郷土シリーズ（41）』編集委員委嘱

期 間：令和3年7月から令和5年9月まで

内 容：一般財団法人鳥取市社会教育事業団が企画し、令和5年9月に刊行した『郷土シリーズ（41）鳥取の震災』の編集委員として、編集委員会への参加・刊行本の執筆を行った。

委嘱者：池本 美緒

(4) 松江市文書館（仮称）基本計画検討委員会委員委嘱

期 間：令和6年3月から令和7年3月まで

内 容：「松江市文書館（仮称）整備構想」に基づき、松江市の歴史的に重要な公文書や地域に残る歴史史料を収集（評価・選別）・保存・整理・公開する松江市文書館（仮称）の基本計画を策定するに当たり、行政委員として委員会に出席した。

委嘱者：井上 加奈子

(5) 県外からの依頼により講師を派遣

名 称：令和5年度アーカイブズ研修Ⅰ

概 要：独立行政法人国立公文書館が主催する公文書に関する基礎的研修。「鳥取県における評価選別について」をテーマに、鳥取県における評価選別の概要や、評価選別事務の見直しについての事例報告を行った。

期 日：令和5年8月22日（火）

場 所：会場（東京都内）とオンラインでの開催

講 師：井上 加奈子

受講者：124人（会場：57人、オンライン：67人）

名 称：令和5年度アーカイブズ研修Ⅱ

概 要：独立行政法人国立公文書館が主催する、特定のテーマに関する基礎的研修。「電子公文書の管理・保存・利用」をテーマに、鳥取県における電子決裁・文書管理システムの特徴についての事例報告を行い、討論のパネリストも務めた。

期 日：令和6年2月2日（金）

場 所：オンラインで開催

講 師：新林 えり

受講者：153人

(6) 鳥取県立公文書館報第33号の発行

公文書等の管理の状況を公表するため、鳥取県立公文書館報第33号を作成し、令和5年5月にホームページで公開した。

〔県史活用担当〕

ふるさと鳥取歴史情報活用推進事業の概要

新鳥取県史編さん事業（平成18～31年度）の成果や収集した歴史資料の活用を図るため、教育委員会や関係機関と連携しながら、学習教材となりうる資料の提供や「ふるさと教育」の支援等を行うとともに、歴史・民俗を活用した地域づくりや文化財指定等に係る調査協力等の市町村事業の支援を行い、郷土の歴史文化を担う人材の育成や魅力ある地域づくりにつなげることを目的に、令和2年度から以下の4つを柱とする事業を実施している。

1 ふるさと教育・人材育成支援事業

(1) 新鳥取県史を活用した学習教材開発事業

ア 事業概要

新鳥取県史編さん事業の成果や収集した歴史資料の学校教育での活用を図るため、教科書の内容に即した郷土資料データの提供や、授業で活用できる教材づくり等を進め、ウェブを使って利用しやすい形で提供することによって、生徒や教員が郷土の歴史を手軽に学び、理解を深める機会を創出する。

イ 新鳥取県史を活用した学習教材開発検討会議の開催

期 日：（第1回）令和5年8月1日（火）
（第2回）令和5年12月27日（水）

場 所：公文書館 会議室

内 容：教材の公開方法、教材の内容・仕様、今後の取組に係る協議

ウ 検討会議メンバー

氏 名	所属・役職	担当等
岡村 吉彦（座長）	県立鳥取東高等学校教諭	中世
吉田 学	県立青谷高等学校教諭	考古
前田 孝行	県立鳥取西高等学校教諭	近代
花原 慧史	鳥取市立湖東中学校教諭	近世
小山 富見男	鳥取地域史研究会会長	近代・現代
横山 順一	県教育センター所長	アドバイザー
奥田 信行	県教育委員会高等学校課指導主事	オブザーバー
石田 敏紀	県立公文書館課長補佐	事務局、古代、現代

(2) 市町村事業の支援・協力

- ・当県事業の「新鳥取県史を学ぶ講座」を倉吉博物館の「博物館講座」として、米子市立山陰歴史館の「企画展関連講座」として共催することを通じて、市町村事業の支援を実施。（事業詳細は、次ページ2（1）を参照。）
- ・長楽寺檀家会主催（日野町教育委員会後援）の「長楽寺の仏さまを学ぶ会」への出講（演題「長楽寺の仏像の魅力と歴史」）。
- ・三朝町教育委員会主催「三朝大学」への出講（演題「三朝温泉鉄道敷設計」）。

(3) パネル展「子どもたちと戦争」の開催

期 間：令和5年8月4日（金）～8月27日（日）

会 場：県立図書館・公文書館の共通通路（公文書館側）

テーマ：（前期：8月4日～15日）鳥取県の満蒙開拓青少年義勇軍
（後期：8月16日～27日）神戸からの学童集団疎開

内 容：鳥取県史ブックレット7『満蒙開拓と鳥取県』、同15『鳥取県への学童集団疎開』の内容を解説パネルで紹介した。合わせて公文書館ホームページで公開中の「デジタル郷土学習教材」のうち、戦時下の子どもの暮らしに関わる教材を紹介した。

2 県民の豊かな学びを支える県史活用推進事業

(1) 新鳥取県史を学ぶ講座

ア 歴史講座「鳥取県の鉄道敷設運動―山陰線の開通―」

第1回

期 日：令和5年6月25日（日）
会 場：倉吉交流プラザ第1研修室
講 師：石田 敏紀（公文書館課長補佐）
参加者：22名

第2回

期 日：令和5年7月9日（日）
会 場：鳥取県立博物館 講堂
講 師：石田 敏紀（公文書館課長補佐）
参加者：15名

第3回

期 日：令和5年9月24日（日）
会 場：米子市立図書館 多目的ホール
講 師：石田 敏紀（公文書館課長補佐）
参加者：29名

イ 民俗講座「『新鳥取県史 民俗2・民具編』に掲載された倉吉の民具」

期 日：令和6年3月10日（日）
会 場：上小鴨コミュニティーセンター
講 師：（第1部）福井 貞子（染織家、絣研究家、絣蒐集家、県無形文化財「絣」保持者）
（第2部）関本 明子（倉吉博物館主任学芸員）
（第3部）前田 俊一郎（文化庁文化財第一課主任調査官）
参加者：90名

(2) 占領期の鳥取を学ぶ会の開催

英文の鳥取軍政部活動報告を解説し、占領期の鳥取について学ぶ県民参加の連続講座を鳥取市歴史博物館と共同で開催した。

期 日：5月20日（土）、6月17日（日）、7月15日（土）、
8月19日（土）、9月16日（土）、10月21日（土）、
11月26日（日）、12月16日（土）、1月20日（土）、
2月17日（土）、3月16日（土）

会 場：鳥取市歴史博物館
助言者：澤田 晶子（翻訳家）
参加者：毎回10～15人

3 新たな地域を拓く歴史情報収集・発信事業

(1) 鳥取県に関する重要な歴史資料の調査収集

資料群	地域	概要	点数
西木下家文書	日南町	近世～近代の鉄山関係資料	3,480

(2) 新鳥取県史収集資料の整理と公開

新鳥取県史編さん事業等で調査・撮影した歴史・民俗資料について、公開用の目録作成、写真データの整理等を行い、郷土学習や歴史研究等の活用に供するため、資料データや写真画像・図面等を「とっとりデジタルコレクション」で公開した。

○「とっとりデジタルコレクション」でこれまでに公開した資料数

分類	資料群件数	資料点数	概要等
古文書資料	73	1,041	県内外の個人蔵の中世文書
古記録資料	36	51	県内の棟札・金石文等
民俗資料	1	58	北栄町郷土資料館所蔵民具資料
考古資料	672	87	県内主要遺跡データ・実測図
旧県史刊行物	25	25	『鳥取藩史』等のPDF版
新県史刊行物	23	23	『新鳥取県史』の情報
	830	1,285	

4 鳥取県の特徴ある歴史文化の調査研究事業

(1) 鳥取県災害アーカイブズ事業

ア 事業概要

過去の歴史資料や文献資料から、これまでに鳥取県内で発生したさまざまな災害事例を抽出し、その発生時期・地域・災害種類等をデータベース・アーカイブズとして公開する。

イ 災害関連情報の収集

新旧鳥取県史資料編からの抽出は、旧鳥取県史（近世資料編）・新鳥取県史（軍事・兵事編）を除き終了。なお、新旧鳥取県史に加え、県立博物館・県立図書館からも、地震・洪水などの関係資料（堀文庫、山田家資料など）の調査・収集は継続中。

ウ 鳥取県災害アーカイブズ検討会議の開催

期 日：（第1回）令和5年6月5日（月）
 （第2回）令和5年10月2日（月）
 （第3回）令和5年10月14日（土）

会 場：（第1回）対面開催（公文書館 会議室）
 （第2回）ハイブリット開催（公文書館 会議室）
 （第3回）オンライン開催

検討会議メンバー（所属・役職は、開催当時のもの）

氏名	所属・役職	専門分野等
榎原 雅治（座長）	公益財団法人地震予知総合研究振興会 副主席主任研究員	日本史学（中世）
西山 昭仁	奈良文化財研究所 客員研究員	日本史学（近世）
村田 泰輔	奈良文化財研究所 主任研究員	災害考古学、地質学
香川 敬生	鳥取大学工学部 教授	地震工学
西村 修一	鳥取地方気象台 次長	災害・気象情報
小山 富見男	鳥取地域史研究会 会長	日本史学（近現代）
来見田 博基	鳥取県立博物館 主任学芸員	日本史学（近世）
佐藤 紘一	鳥取県立図書館 学芸員	日本史学（近世）

エ 鳥取県災害アーカイブズ実務者会議の開催

期 日：令和5年5月26日（金）

会 場：オンライン開催

出席者（所属・役職は、開催当時のもの）

氏名	所属・役職
榎原 雅治	公益財団法人地震予知総合研究振興会 副主席主任研究員
香川 敬生	鳥取大学工学部 教授
来見田 博基	鳥取県立博物館 主任学芸員
西山 昭仁	奈良文化財研究所 客員研究員
村田 泰輔	奈良文化財研究所 主任研究員

内 容：委員提案の内容と経緯、今後の進め方などについて

(2) オーラルヒストリー調査事業（「鳥取県の昭和の記憶」収集事業）

ア 事業概要

戦後の本県の政治・経済・社会その他諸分野で活躍してきた人々の証言を記録化し、貴重な歴史資料として後世に伝える。収集した証言記録は、将来的には通史編（現代）の編さんにも活用する。

イ 「オーラルヒストリー調査報告書」編集会議の開催

期 日：（第1回）令和5年4月20日（木）
（第2回）令和5年12月8日（金）

場 所：公文書館 会議室

内 容：報告書の内容・構成について

検討会議メンバー（調査委員）

氏名	所属・役職等	備考
小山 富見男	鳥取地域史研究会会長	元現代部会長
西村 芳将	県青谷かみじち史跡公園準備室長	元県史編さん室現代担当職員
佐々木 孝文	鳥取市教育委員会文化財課課長補佐	元現代部会委員

ウ オーラルヒストリー「とっとりの記憶」1『元鳥取県知事 平林鴻三』の刊行

書籍名：オーラルヒストリー「とっとりの記憶」1『元鳥取県知事 平林鴻三』

体裁等：A5判、132頁、頒布価格500円

頒布窓口

県立公文書館、県庁県民課、八頭県土整備事務所建設総務課、中・西部総合事務所県民福祉局、日野振興センター日野振興局、県内各書店、県立博物館

県外の方や窓口での購入が困難な方が書籍を希望する場合は、郵送による販売も可能

(3) 弥生時代青銅器の調査研究

ア 事業概要

鳥取県に関する弥生時代の青銅器（銅鐸・銅剣等）の詳細な図面を鳥取県埋蔵文化財センターの兼務職員を中心に作成。成果は報告書の形で県民へ公開する。

イ 報告書作成編集会議の開催

期 日：（第1回）令和5年4月25日（火）
（第2回）令和5年11月20日（月）

場 所：公文書館 会議室

編集会議メンバー

氏名	所属・役職等	備考
高田 健一	鳥取大学地域学部教授	元県史編さん委員会考古部会長
中原 斉	米子市文化財専門官	前県地域づくり推進部文化財局長
田中 正利	県教育文化財団職員	

内 容：現在の進捗状況・今後の業務に関する報告、資料名称等に関する協議

ウ 図版作成

高田 健一（鳥取大学地域学部教授）

エ 報告書の刊行

書籍名：鳥取県の銅鐸・武器形青銅器の研究

体裁等：A4判、本文247頁、頒布価格4,700円

頒布窓口

県立公文書館、中・西部総合事務所県民福祉局

県外の方や窓口での購入が困難な方が書籍を希望する場合は、郵送による販売も可能

利用案内

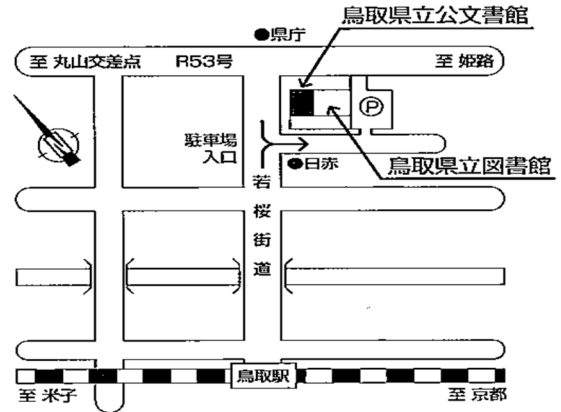
開館時間

●月～金曜日 9:00～17:00

休館日

- 日曜日、土曜日
- 国民の祝日及び振替休日
- 年末年始（12月29日～1月3日）
- 展示コーナーについては、年末年始及び月末に当たる場合を除き、日曜日、土曜日にも入館できます。

案内図



- 徒歩 鳥取駅から若桜街道を県庁方向へ
徒歩20分
- バス 鳥取バスターミナルより
湖山・鳥大線、賀露線など
「県庁日赤前」下車徒歩1分

鳥取県立公文書館報

第34号—令和6年度—

令和6年6月発行

編集・発行 鳥取県立公文書館
〒680-0017 鳥取市尚徳町101番地
電話 (0857)26-8160
ファクシミリ (0857)22-3977
電子メール kobunsho@pref.tottori.lg.jp
<https://www.pref.tottori.lg.jp/kobunsho>